



年頭のごあいさつ

幌延町長
宮本 明



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、皆様には、平素よりそれぞれの分野におきまして、町政の推進に格別のご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、厳しい財政環境の中、町政のさまざまな分野にわたり町民皆様の温かいご理解とご協力を得て、町政の主要施策を執行することが出来たことを心よりお礼申し上げます。

未だ、先の見えない経済不況の中、失業率の増加と公共事業の縮減、地方交付税の削減等により大変厳しい町財政運営を強いられている一方で、特に市町村合併問題が大きな関心となっております。本町におきましては、町広報誌や幌延町市町村合併問題研究会がまとめた概要版等により、町民の皆様に情報を提供し、町政懇談会や町内会長会議等の席上、町民皆様のご質問やご意見を踏まえ、更に議会議員で構成する市町村合併調査研究特別委員会の成果、町組織団体の意見を伺い、総合的に議論を重ね判断しなければならぬ問題と考えております。本道市町村は、広大な面積を有し、地理的、気象的な条件等で合併しづらい地域が多くありますが、厳しい財政状況の中、地方分権や少子高齢化に対応する

ため、今後の町運営のあり方について真剣に取組み、町政の舵取りを間違いないように判断しなければならないと考えております。

このような厳しい社会情勢の中にあつて、本町におきましては、長年の懸案事項でありました深地層研究施設の建設が本格的稼動したことや、幌延地圏環境研究所の開設により地元の産業や文化、観光事業、ひいては過疎化が進むこの天北地域の活性化につながるものと考えております。

また、本年度は、消防幌延支署庁舎の建設、町民の皆さんにご不便をお掛けしておりました幌延町斎場増築計画、町立病院のエレベーター施設設置計画の整備につきましても準備を進めております。

日々刻々と変貌を遂げる国内外の社会情勢及び経済情勢のもと、当町でもより一層の行政改革の推進と財政改革による効率的な財政運営を行い、健全財政に配慮しながら、更に第四次総合計画に盛り込まれた多くの施策を着実に実行し、透明性の高い開かれた行政の実現を推進してまいります。

難しい課題が山積しておりますが、夢多く希望を持てる年にしたいと考えておりますので、皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、新年のごあいさつといたします。